





COSMETIC COMPOSITION CONTAINING SILICON-CONTAINING COMPOUND AND FATTY ACID ESTER**Publication number:** JP8231339**Publication date:** 1996-09-10**Inventor:** MIRIAMU MERUURU; PASUKARU ARUNOO**Applicant:** OREAL**Classification:****- International:**

A61K8/30; A61K8/25; A61K8/29; A61K8/31; A61K8/34;
A61K8/37; A61K8/55; A61K8/58; A61K8/73; A61K8/89;
A61K8/891; A61K8/894; A61K8/895; A61K8/896;
A61K8/897; A61K8/898; A61K8/92; A61K8/97;
A61K8/98; A61Q1/00; A61Q1/04; A61Q1/06;
A61Q1/10; A61Q1/12; C08L83/04; A61K8/19;
A61K8/30; A61K8/72; A61K8/92; A61K8/96;
A61Q1/00; A61Q1/02; A61Q1/12; C08L83/00; (IPC-7):
A61K7/00

- European:

A61Q1/12; A61K8/37; A61K8/891; A61K8/897;
A61K8/898; A61Q1/06; A61Q1/10

Application number: JP19960012206 19960126**Priority number(s):** FR19950001040 19950130**Also published as:**

 EP0723776 (A1)
 US5738841 (A1)
 FR2729850 (A1)
 EP0723776 (B1)

Report a data error here**Abstract of JP8231339**

PROBLEM TO BE SOLVED: To obtain a uniform cosmetic composition containing a silicon-containing compound which is poor in compatibility and/or a hydrocarbon compound together. **SOLUTION:** This cosmetic composition contains a fat phase having at least one silicon-containing compound and octyldodecyl neopentanoate. The fat phase can contain at least one second silicon-containing compound and/or at least one hydrocarbon other than octyldodecyl neopentanoate. The composition can uniformly disperse the powder, even when the composition contains a powder phase comprising powder, etc. The composition may be used as a care product and/or a make-up product for the skin and/or keratinous fibers.

Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-231339

(43) 公開日 平成8年(1996)9月10日

(51) Int.Cl.⁴

識別記号

序内整理番号

F I

技術表示箇所

A 6 1 K 7/00

A 6 1 K 7/00

C

E

審査請求 有 請求項の数14 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願平8-12206

(22) 出願日 平成8年(1996)1月26日

(31) 優先権主張番号 9 5 0 1 0 4 0

(32) 優先日 1995年1月30日

(33) 優先権主張国 フランス (F R)

(71) 出願人 391023932

ロレアル

L O R E A L

フランス国パリ, リュ ロワイヤル 14

(72) 発明者 ミリアム・メルール

フランス・94240・ライーレー・ロゼ・ア

レ・デュ・バルク・ドゥ・ラ・ベブル・17

(72) 発明者 バスカル・アルノー

フランス・94000・クレデーユ・アヴェニ

ユ・デュ・ガル・ピョート・43

(74) 代理人 弁理士 志賀 正武 (外2名)

(54) 【発明の名称】 シリコン含有化合物及び脂肪酸エステルを含む化粧品組成物

(57) 【要約】

【課題】 相容性の悪いシリコン含有化合物及び／または炭化水素化合物をともに含む均一な化粧品組成物を提供する。

【解決手段】 少なくとも1つのシリコン含有化合物とネオペンタン酸オクチルドデシルとを含む脂肪相を有する化粧品組成物。この脂肪相は、少なくとも1つの第2のシリコン含有化合物及び／またはネオペンタン酸オクチルドデシル以外の少なくとも1つの炭化水素をさらに含むことができる。また、この組成物は、パウダー等からなる粉体相を含む場合にも、その粉体は均一に分散される。この組成物は、皮膚及び／またはセラチン繊維の手入れ用製品及び／またはメーキャップ用製品とすることができる。

【特許請求の範囲】

【請求項1】 少なくとも1つのシリコン含有化合物とネオペンタン酸オクチルデシルとを含む脂肪相を有することを特徴とする無水の化粧品組成物。

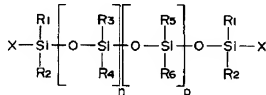
【請求項2】 前記脂肪相が、少なくとも1つの第2のシリコン含有化合物及び／またはネオペンタン酸オクチルデシル以外の少なくとも1つの炭化水素をさらに含むことを特徴とする請求項1記載の組成物。

【請求項3】 前記ネオペンタン酸オクチルデシルが、前記脂肪相の0.5-99重量%、好ましくは1-70重量%を占めることを特徴とする請求項1または2に記載の組成物。

【請求項4】 前記ネオペンタン酸オクチルデシル、前記シリコン含有化合物、及び／または任意に炭化水素化合物からなる脂肪相の1-100%と、粉体相の0-99%とからなることを特徴とする請求項1から3のいずれかに記載の組成物。

【請求項5】 前記シリコン含有化合物が、シクロメチコンD4、D5、及びD8等のシクロメチコン類、ポリジメチルシロキサン、アルキルジメチコン、フェニルジメチコン及びフェニルトリメチコン等のポリフェニルメチルシロキサン、及び、任意にフッ素を含む脂肪族及び／または芳香族基、あるいはヒドロキシル、チオール及び／またはアミノ基で修飾されたシリコン、下記式で表されるシリコンから選択されることを特徴とする請求項1から4のいずれかに記載の組成物。

【化1】



但し、R₁、R₂、R₃及びR₄は、同一または異なっており、1から6の炭素原子を持つアルキルラジカルであり、R₅及びR₆は、同一または異なっており、1から6の炭素原子を持つアルキルラジカルまたはアリールラジカルであり、Xは、1から6の炭素原子を持つアルキルラジカル、ヒドロキシルラジカル、またはビニルラジカルであり、n及びpは、このシリコン含有化合物が100,000 mPa・sより大きな粘度を持つように選択される。

【請求項6】 前記炭化水素化合物が、植物、動物、鉱物及び／または合成の油または蠟から選択されることを特徴とする請求項2から5のいずれかに記載の組成物。

【請求項7】 前記炭化水素化合物が、液体パラフィン、液体ペトロラタム、ペルハイドロスカレン、アララ油、スイートアーモンド油、カロフィラム油、アボカド油、ゴマ油、ヒマシ油、ジョジョバ油、オリーブ油、またはセリール・ゲルム油；ラノリン酸、オレイン

酸、ラウリル酸、ステアリン酸、またはミリスチン酸のエステル；オレイルアルコール、リノレイルアルコールまたはリノレニルアルコール、イソステアリルアルコールまたはオクチルデカノール等のアルコール類；アセチルグリセリド、アルコールまたはポリアルコールのオクタ酸、デカ酸、またはシノール酸エステル；カプリル酸／カプリン酸トリグリセリドまたはC₁₈からC₂₄の脂肪酸トリグリセリド；水素化ヒマシ油、パーム油、またはココナツ油、または水素化牛脂等の、25℃で固体の水素化油；モノ、ジ、トリまたはスクロリセリド；ラノリン；及び25℃で固体の脂肪エステル、密蝟、カルナウバ蠟、カンデリラ蠟、オウリカリ一蠟、ジャパニ蠟またはコルク蠟からまたはサトウキビからの蠟；パラフィン蠟、亜炭蠟、または微結晶蠟、またはオゾケライト；ポリエチレン蠟及びフィッシャー・トロップシュ合成によって得られた蠟から選択されることを特徴とする請求項2から6のいずれかに記載の組成物。

【請求項8】 色素及び／またはフィラーを含むことを特徴とする請求項1から7のいずれかに記載の組成物。

【請求項9】 前記色素が、無機、有機及び／または真珠光沢色素から選択されることを特徴とする請求項8記載の組成物。

【請求項10】 前記フィラーが、無機、有機、または合成フィラーであって、ラメラまたは非ラメラ、及び球状または非球状フィラーから選択されることを特徴とする請求項8記載の組成物。

【請求項11】 前記色素が、二酸化チタン、酸化亜鉛、二酸化ジルコニウム、酸化鉄、二酸化セリウム、酸化クロム、フェリク・ブルー、カーボンブラック、バリウム、ストロンチウム、カルシウム及びアルミニウムのレーキ、及び酸化チタンまたは塩素酸ビスマス被覆された雲母から選択され、前記フィラーが、タルク、雲母、シリカ、カオリン、ナイロン及びポリエチレンパウダー、テフロン、澱粉、チタニウム雲母、真珠の天然母体、窒化ホウ素、中空微粒子、及びシリコーン樹脂マイクロビーズから選択されることを特徴とする請求項8または9に記載の組成物。

【請求項12】 自由な、注入されたまたは密に充填されたパウダー（ファンデーション、ブラッシャーまたはアイシャドー）、流動性のより大きなまたは小さな無水の油性製品（口紅、マスカラまたは溶媒ワニス）、身体用及び／または顔面用のオイルまたはローションといった皮膚及び／またはセラチン物質の手入れ用品及び／またはメーキャップ用品、あるいは、無水スタイリングジェルのような毛髪用品の形態であることを特徴とする請求項1から11のいずれかに記載の組成物。

【請求項13】 ネオペンタン酸オクチルデシルからなることを特徴とする、少なくとも1つのシリコン含有化合物からなる無水の化粧品組成物において用いられる

相容化試薬。

【請求項14】 ネオペンタン酸オクチルドデシルからなることを特徴とする、パウダーを含む無水の化粧品組成物において用いられるパウダー用分散剤。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、シリコーン油、ガム、及び／または蠟等のシリコン含有化合物と、任意に含まれる炭化水素化合物とからなり、メーカップ用組成物及び／または皮膚手入れ用組成物として用いることができる化粧品組成物に関する。

【0002】

【従来の技術】シリコン含有組成物を、化粧品組成物、特にメーカップ用組成物として用いることが知られている。これらの化合物によって、中でも皮膚上に極めて均一な成膜を得ることが可能になり、この成膜は良好な化粧品特性を有する。またこれらの化合物は、その親水性によりメーカップの保持力を向上させることができる。また、化粧品組成物に炭化水素化合物を使用することも知られている。

【0003】しかし、ある種のシリコン含有化合物は、化粧品組成物で一般に用いられているある種の炭化水素化合物との相容性が悪いためその使用が制限されていた。

【0004】シリコン含有化合物と炭化水素化合物の両方を含む化粧品組成物を調製するための多くの解決策が提案されている。例えば、イソパラフィンのような溶媒または共同溶媒を用いることを挙げることができるが、それらの臭気及び揮発性が好ましくない場合があった。

【0005】また、特開昭62-169714号公報には、シリコーン油と固体脂肪物質からなる組成物が記載されている。この組成物では、その調製中に0℃以上の固化温度を持つエステル油を添加し、色素の電荷をメチルヒドロゲンポリシロキサン(methylhydrogenopolysiloxane)で処理することが必要であった。なお、前記エステル油は、脂肪酸とアルコールからなる分枝した分子内構造を有する。

【0006】さらに、欧州特許出願公開437,216号公報には、シリコーンを可溶化及び／または溶解する試薬が記載されている。この試薬は、式 R_1COOR_2 で表されるエステルの形態をなしており、この R_1 は C_{1-10} のイソアルキルであり、 R_2 は C_{1-10} のイソアルキルである。しかし、これらを皮膚に適用したとき、これらの試薬を含む化粧品組成物は、特に口紅として用いた場合に好ましくない乾燥感を与える。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】よって本発明の目的は、少なくとも1つのシリコン含有化合物を含み、高分子量の炭化水素化合物と組み合わせても均一な化粧品組成物を提供することにある。

【0008】

【課題を解決するための手段】本発明の主題は、脂肪相に、少なくとも1つのシリコン含有化合物と、それと組み合わせるネオペンタン酸オクチルドデシル(octyldecyl neopentanoate)を含む無水の化粧品組成物である。

【0009】驚くべきことにそして予期しないことに、そのような組成物が均一な形態をなすことが実際に見出されている。即ち、液体／液体混合物の場合には、この組成物は均一に分布して単相混合物が形成され、油中蠟混合物のような固体／液体混合物の場合は、高温条件下において均一で透明な混合物が形成され、冷却時において油中蠟の均一分散体が形成される。

【0010】得られた組成物は、特に皮膚に適用されたときに乾燥感を与えないという化粧品として良好な特性を持つという利点を有している。

【0011】本発明の他の利点は、一般的には互いに相容性の悪い他のシリコン含有化合物及び／または炭化水素化合物を該脂肪相に添加しても、組成物が均一に保たれるということにある。

【0012】本発明の他の主題は、少なくとも1つのシリコン含有化合物を含む無水の化粧品組成物において、相容化試薬としてネオペンタン酸オクチルドデシルを用いることにある。

【0013】この明細書において、相容化試薬という用語は、上記で定義したような均一な組成物を得ることを可能にする相互混和化試薬を意味するものと解される。

【0014】ここで、ネオペンタン酸オクチルドデシルは、 C_{10} のイソアラキシルアルコールと、 C_5 のネオペンタン酸とのエステルである。このエステルは、シリコン含有化合物同志、及び／またはシリコン含有化合物と炭化水素化合物との相容化に優れた試薬であることがわかった。さらに、ネオペンタン酸オクチルドデシルは良好な温度及び化学的安定性を有しているため、それを含まない従来の組成物と比較して適用に際して油性の高い生地を持つ組成物を得ることを可能にする。

【0015】さらに、ネオペンタン酸オクチルドデシルは、パウダーに対して注目値する分散剤として作用し、均一分散体を得ることを可能にすることがわかった。

【0016】よって、本発明の他の主題は、このエステルを、パウダーを含む化粧品組成物において分散剤として使用し、粉体粒子が脂肪相に完全に分散された均一混合物を得ることを可能にすることである。

【0017】

【発明の実施の形態】ネオペンタン酸オクチルドデシルは、本発明の組成物の脂肪相の0.5-99重量%、好ましくは1-70重量%を占める。

【0018】本発明の組成物は、一般に、密に押し固められたまたは注入された製品の形態をなしているか、さ

もなくば、固体または液体の無水の油性製品の形態をしている。

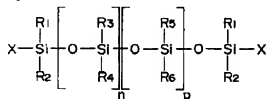
【0019】よってこの組成物は、シリコン含有化合物、任意に含まれる炭化水素、及びネオペンタン酸オクチルデシルが存在する脂肪相を有し、この脂肪相には、親油性の添加剤や親水性の添加剤を含んでよく、この組成物は、色素及び／またはフィラーを含む粉体相を任意に含んでいてもよい。

【0020】この脂肪相は最終製品の1-100重量%を占め、前記粉体相は最終製品の0-99重量%を占める。

【0021】このように、本発明の組成物は、シリコン油、ガム、及び／または蠟から選択される少なくとも1つのシリコン含有化合物を含む。このシリコン含有化合物としては、特にシクロメチコンD4、D5、及びD6等のシクロメチコン類、ポリジメチルシロキサン、アルキルジメチコン、フェニルジメチコン及びフェニルトリメチコン等のポリフェニルメチルシロキサン、及び、任意にヒドロキシル、チオール及び／またはアミノ基で修飾されたシリコンを挙げることができる。また、下記式で表されるシリコンを挙げることができる。

【0022】

【化2】



【0023】但し、上記式において、 R_1 、 R_2 、 R_3 及び R_4 は、同一でも異なってもよく、1から6の炭素原子を持つアルキルラジカルであり、 R_5 及び R_6 は、同一または異なってもよく、1から6の炭素原子を持つアルキルラジカルまたはアリールラジカルであり、 X は、1から6の炭素原子を持つアルキルラジカル、ヒドロキシルラジカル、またはビニルラジカルであり、 n 及び p は、このシリコン含有化合物が100,000mPa・sより大きな粘度を持つように選択されたものである。

【0024】本発明の組成物は、植物、動物、鉱物及び／または合成の油または蠟等の炭化水素化合物を含んでいてもよい。

【0025】例えば、液体パラフィン、液体ベテロラタム、ベルハイドロスクワレン(perhydnosqualene)、アララ(arara)油、アルモンド油、カロフィラム(calophyllu)m油、アボカド油、ゴマ油、ヒマシ油、ホホバ油、オリブ油、または穀物胚油；ラノリン脂肪酸、オレイン酸、ラウリル酸、ステアリン酸、またはミリスチン酸のエステル；オレイルアルコール、リノレイルアルコール

またはリノレニルアルコール、イソステアリアルアルコールまたはオクチルデカノール等のアルコール類；アセチルグリセリド、アルコールまたはポリアルコールのオクタ酸、デカ酸、またはリシノール酸エステル、カプリル酸/カプリン酸トリグリセリドまたは C_{18} から C_{24} の脂肪酸トリグリセリドを挙げることができる。

【0026】水素化したヒマシ油、パーム油、またはココナツ油、または水素化牛脂等の25℃で固体の水素化油；モノ、ジ、トリまたはスクログリセリド(sucroglycerides)；ラノリン；または25℃で固体の脂肪酸エステルを用いることもできる。

【0027】蠟の中では、密蜜等の動物油、カウナウバ蠟、カンデリラ蠟、オウリカリー蠟(ouricurry wax)、ジャパン蠟(Japan wax)またはコルク繊維からまたはサトウキビからの蠟等の植物油；例えば、パラフィン蠟、亜麻蠟、または微結晶蠟、またはオゾクライトといった鉱物蠟；合成蠟、中でもポリエチレン蠟及びフィッシャー・トロップシュ(Fischer-Tropsch)合成によって得られる蠟が挙げられる。

【0028】この組成物は、化粧品組成物で通常用いられる色素及び／またはフィラーを含んでいてもよい。

【0029】この色素は、白色でも着色されていてもよく、無機、有機及び／または真珠光沢色素であってもよい。この色素としては、例えば、二酸化チタン、酸化亜鉛、二酸化ジルコニウム、黒色、黄色、赤色、または褐色の酸化鉄、二酸化セリウム、酸化クロム、フェリック・ブルー(ferric blue)、カーボンブラック、バリウム、ストロンチウム、カルシウム及びアルミニウムのレーキ、及び酸化チタンまたは塩素酸ビスマスで被覆された雲母が挙げられる。

【0030】フィラーは、無機、有機、または合成のフィラー、ラメラまたは非ラメラのフィラー、及び球状または非球状のフィラーであってよい。例えば、タルク、雲母、シリカ、カオリン、ナイロン及びポリエチレンパウダー、テフロン、澱粉、チタニウム雲母、真珠の天然母体(natural mother)、窒化ホウ素、中空微粒子、及びシリコン樹脂マイクロビーズを挙げることができる。

【0031】この組成物は、このタイプの化粧品組成物で通常用いられる成分を含んでいてもよい。これらの成分は、例えば、被覆用パウダー、透明性、艶消し、及び／または滑らかな外観といった最終製品に求められる化粧品効果に従って選択するのが好ましい。以下の成分を示すことができるが、これに限られるものではない。

【0032】ゲル化剤、例えば、NLインダストリー(NL industries)から販売され、そのまままたはゲル中で前処理して用いられるベントン(benton)の名称で知られている修飾クレール、疎水性シリカ、脂肪酸のアルミニウム塩、

・ビタミン、例えば、トコフェロール及びその誘導体、

ビタミンA及びその誘導体、パルミチン酸塩を含む脂肪酸エステルなどのビタミンC及びその誘導体。

・遮光剤、例えば、オクチルメトキシシナメート (Parasol MCX)、3-ベンゾフェノン (Uvinul M40)、及びブチルメトキシジベンゾイルメタン (Parasol 1789)。

・油性物質、例えば、芳香剤、精油、及びフッ素油。

・加湿剤、例えば、プロピレングリコール、及びグリセリン。

【0033】親水性成分は脂肪相中に分散させるのが好ましい。本発明の組成物の製造方法は、化粧品で従来用いられ、当業者が慣れ親しんでいる方法と、何ら異なるところがない。

【0034】本発明の組成物は、皮膚及び/またはケラチン繊維の手入れ用製品及び/またはメーキャップ用製品の形態であってよい。

【0035】この製品は、自由な、注入されたまたは密に押し固められたパウダー (ファンデーション、白化剤またはアイシャドー)、流動性のより大きなまたは小さな無水の油性製品 (口紅、マスカラまたは溶媒ワニ

*20

・ス)、身体用及び/または顔面用のオイルまたはローション、あるいは、無水スタイリングジェルのような毛髪用品の形態であってもよい。

【0036】

【実施例】以下に、実施例を用いて本発明を詳細に説明するが、実施例中のパーセント表示はすべて重量%である。

【0037】(実施例1) オイル及びシリコーン・ガムの、本発明のエステル中及び類似の化学構造を持つ従来のエステル中への溶解性を比較した。シリコーン・オイルは、350 mPa・sの粘度を持つPDMS (ダウ・コーニング(Dow Corning)社のDC200オイル)とした。

【0038】シリコーン・ガムは、式(1)において、置換基R₁からR₄及びXがメチル基であり、p=0であり、n=2300であって、粘度が500,000 mPa・sのガムである(ワッカー(Wacker)社のAK500,000)。以下の結果が得られた。

【0039】

【表1】

	炭素原子数	シリコーン オイル	シリコーン ガム
ネオペンタン酸オクチルデシル	20+5	∞	∞
ネオペンタン酸イステaryl	18+5	0	0
イソノナン酸2-ヘキシルデシル	16+9	0	0
イソノナン酸イステaryl	18+9	0	0

【0040】表1において、「∞」は、オイル及びガムが、検討しているエステル中において、あらゆる比率で優れた溶解性を示したこと、「0」は、オイル及びガムが、検討しているエステル中に全く溶解性を示さなかったことを意味する。また、ネオペンタン酸オクチルデシルは、バーネル・ケミカル(Bernel Chemical)社のエラフック1-205 (Elefac 1-205)であり、ネオペンタン酸イソステarylは、ISP社のセラフィル375 (Ceraphyl 375)であり、イソノナン酸2-ヘキシルデシルは、ステアリンエース・ツボイス(Stearinerie Dubeis)であり、イソノナン酸イソステarylは、セビック(SEPPIC)社のラノール189 (Lanol 189)である。

【0041】ネオペンタン酸オクチルデシルを用いると、検討しているエステルと、特定のシリコーンオイル

及び特定のシリコーンガムとを含む均一な組成物を得ることが可能になるが、類似の化学構造を有するエステルでは不可能であることがわかった。

【0042】(実施例2) シリコーンオイル中のガム溶液に、25℃において、ガムの析出を生じないで添加できるエステルの最大量を測定した。試験溶液は、式

(1)において、置換基R₁からR₄がメチル基であり、置換基Xがヒドロキシル基であり、P=0であって、n=2,700であるガムの、ポリジメチルシロキサン(ダウ・コーニング社のQ2-1403)中の13%溶液である。以下の結果が得られた。

【0043】

【表2】

ネオペンタン酸オクチルデシル (バール・グーの IL773 1-205)	少なくとも1000%まで 析出無し
ネオペンタン酸イステaryl (ISP の モテイル 375)	68 %
イソナ酸2-ヘキシル (ステアリン酸・グーの IL)	72 %
イソナ酸イステaryl (モック の ラール 189)	60 %

【0044】ネオペンタン酸オクチルデシルは、特定のガムを実質的に無限に溶解させることを可能にするが、類似の化学構造を有するエステルではそのような効果がないことがわかった。

【0045】(実施例3)ネオペンタン酸オクチルデシ

＊シルの、異なる化学構造を持つ数種のシリコン含有化合物に対する正確な相容性を観察した。以下の結果が得られた。

【0046】

【表3】

シリコン オイル (PDMS) ダウ・コーニング の DC200 350 mPa・s	∞
フェニルトリメチコン ダウ・コーニング の PDM 1000 (BELSIL PDM 1000)	∞
ジフェニルジメチコン ロネ・ポレンク(Rhone Poulenc) の G A 761 (Gum 761)	10% 以上
アルキルジメチコン ダウ・コーニング の DC 5519	∞
フルオロジメチコン グラント(Grant) の グラシル DM 100 (GRANSIL DM 100)	∞
アモジメチコン(Amodimethicone) ダウ・コーニング の L656	∞
水素添加シリコン ロネ・ポレンク の シルバ(SILBIONE) 71516/60	∞
PDMS + トリメチルシリロキシン混合物 (67/33) ダウ・コーニング の DC5636	∞

【0047】このように、ネオペンタン酸オクチルデシルは、異なる化学構造を持つ多数のシリコン含有化合物に対してかなりの相容性を有する。

※【0048】(実施例4)以下の組成の混合物を調製した。

- ・PDMS + トリメチルシリロキシン混合物 30%
(ダウ・コーニングのDC593)
- ・アルキルジメチコン 30%
(ゴールドシュミット(Goldschmidt)のA B I L WAX 9801)
- ・ネオペンタン酸オクチルデシル 40%

【0049】この実施例においては均一な溶液が得られたが、一方、ネオペンタン酸オクチルデシルを加えなかった場合は、巨視的にも微視的にも不均一な成分の混合物となった。このように、ネオペンタン酸オクチルデ

★デシルは、互いに相容しないシリコンの共同溶媒として用いることができる。

【0050】(実施例5)以下の組成の口紅を調製した。

- ・ネオペンタン酸オクチルデシル 60%
- ・ジフェニルジメチコン 0.1%
(ロネ・ポレンクのGum 761)
- ・ポリエチレン蠟 13.5%
- ・微結晶蠟 4.5%
- ・プロピオン酸アラキシル 10%
- ・色素 11.9%

【0051】シリコンガムは、ネオペンタン酸オクチルデシルに80℃で溶解させた。均一化した後、他の

11

12

成分を95℃で加えた。攪拌及び粉砕の後、95℃で混合物を容器に注入し、良好な化粧品特性を有する口紅を得た。特に、この口紅を適用したときに唇の乾燥感が無く、このことは、本発明の組成物の有利な感覚的側面で*

*ある。

【0052】（実施例6）以下の組成の口紅を調製した。

・ネオペンタン酸オクチルドデシル	65%
・アルキルジメチコン（ダウ・コーニングのD2 5519）	5%
・ポリエチレン蠟	13.5%
・微結晶蠟	4.5%
・色素	11.9%

【0053】全ての成分は95℃で混合した。均一化及び粉砕の後、95℃で混合物を容器に注入し、良好な化粧品特性を有する口紅を得た。

10※【0054】（実施例7）以下の組成のアイシャドーを調製した。

※

粉体相

・タルク	48%
・チタニウム雲母	30%
・酸化クロム	8%
・酸化亜鉛	2%

脂肪相

・ネオペンタン酸オクチルドデシル	10%
・ガム+オイル混合物（ダウ・コーニングのQ2-1403）	2%

【0055】粉体相の成分を混合し、次いで脂肪相を添加し、その混合物を攪拌して篩にかけた後、金属シェル容器中で密に押し固めた。良好な化粧品特性を持つアイ★

★シャドーが得られた。

【0056】（実施例8）以下の組成のフェイス・パウダーを調製した。

粉体相

・タルク	61%
・雲母	20%
・ナイロン・パウダー	6%
・酸化鉄	7%

脂肪相

・ネオペンタン酸オクチルドデシル	2.4%
・ジメチコン	3.6%

【0057】実施例7と同じ方法で、良好な化粧品特性

を有する充填されたフェイス・パウダーを得た。